

令和5年度 第3回 学校運営協議会議事録

日時	令和6年2月27日(火)	15:30~17:00
場所	本校同窓会館	
参加者	校長 中井 宏典	
	委員 東崎 康嘉	近畿大学 理工学部教授
	増本 哲夫	東大阪商工会議所 常務理事 事務局長
	正木 猛司	同窓会長 正木建設株式会社 代表取締役会長
	山本 紗衣	令和5年度 P T A会長
事務局	川崎 哲也	教 頭
	加藤 孝	事務長
	佐伯 陽介	首 席
	千田 充弘	首 席
	小池 清隆	首 席 兼 進路指導主事
	笹山 秀樹	機械系長
	杉本 岳久	電気系長
	渡邊 千佳	建築設備系長
	近藤 智也	教務部 ICT 主担
	藪田 大輝	生徒支援部主任 生徒指導主事
	渡邊 里子	生徒支援部 保健指導主事
	小島 大亮	生徒支援部 生徒会
	岡 雄一郎	3 学年主任
	西村 康平	2 学年主任
	西本 貴博	1 学年主任

1 学校長挨拶

2 協議事項

1) 令和5年度 学校の取り組みと評価について

確かな学力と社会に向かう力を育成する学校、生徒一人ひとりを尊重し人間性豊かなエンジニアの育成する学校、安心安全で魅力ある学校について学校自己診断結果について説明した。

2) 各分掌、系の取り組みと評価について

次年度から本格実施するデュアルシステムについて、大和ハウス工業株式会社との連携事業を継続について説明を行った。

工科 PR 活動（ものづくりワークショップ）に参加した生徒自身の成長に繋がっており継続を検討する。

3) 委員からのご意見、感想等

- ・基礎基本の学力を定着させる。何を持ってわかるとしているのか。
→生徒アンケート「わかる授業」より生徒が感じている感覚的なものです。学力試験結果のGTZ値との相関はありません。
- ・校務運営の効率化。在宅勤務時の交代人員の確保はありますか。
→在宅勤務について学校現場では生徒対応もあるので、難しいと感じています。
- ・事務員の在宅勤務について、在宅勤務時の連携方法はありますか。
→働き方改革として、ペーパーレス化や外線電話の時間外自動音声対応などを進めている
- ・いじめ事案についてですが、いじめ対策の体制は整っているのか。
→生徒が話しやすい環境の整備として図書館にも居場所を設けている。また、生徒の心のケアについては、外部人材とも連携して対応にあたっている。校内組織については、管理職を中心にいじめ対策会議を開ける体制を整えている。
- ・八尾商工会議所のインターンシップ登録は100社程度あるので、さらに対応できる。企業は人手不足なので是非インターンシップに来てもらいたい。
- ・文化祭での献血は67人でしたが、過去の実施実績はありますか。
→過去には3年生対象に実施したことがあります。本年度の大阪で一番の数字には至っていないので、今年の3年生の協力は嬉しく感じました。
- ・学校教育自己診断の保護者アンケート中には生徒の学校生活等についての質問もあり、様子が分かりづらく答えにくいものもある。
→府教委からの指示もあるが、表現の方法は検討していきたいと思います。
- ・いじめへの対応については、未然防止と併せて早期発見・対応に努めていただいているとのことですので、保護者としては安心感に繋がっている。
- ・心肺蘇生法の講習をPTA対象にも機会を設けてはどうか。
→検討してみます
- ・工科PRイベントとして行っているものづくりワークショップは、毎回盛況であることと、子どもたちに生徒が優しく教えている様子がみられて良かった。

3 その他（校長）

グラデュエーションポリシー・カリキュラムポリシーの報告
統合新校の「校名募集」について説明